

令和元年(2019)年11月29日

奈良県教育委員会 教育長 吉田 育弘 殿

「来年度の県立高校の生徒募集について増枠を求める」請願書

請願者 [REDACTED]  
住所 [REDACTED]  
氏名 [REDACTED]

日々、教育行政にご尽力頂きありがとうございます。

私たちは奈良県で安心して子どもを育てたいと願っています。

しかし、来年度の高校の募集が発表され、このままでは、どうすればいいのか、多くの家庭、親たち子どもたちが悩み、困惑しています。

県PTAの調査では、中学卒業生の97.4%が進学を希望し、中でも75%は公立の高校を希望しています。ところが実際には奈良県内の公立高校の募集定員は全体の約60%しかありません。私学志望者は8.4%です。そのため、希望の公立高校に入学できない場合、より大学進学に適すと考える他府県の私学に通わざるを得ないのが実態です。

今回の募集では、奈良市内の高校の定員枠が狭められ新たな高校の内容もよくわからず大変不安を感じています。高校選択で重視することは、85%が学力レベル、次に交通手段や通学時間64.4%、そして教育内容やカリキュラム49.7%と続きます。

我々が公表されている資料より調べたところ、奈良市地域(北部A)においては、H28年~H31年までの公立中学生3年生の人数に対して平均で約72%の公立の募集枠がありましたが、令和2年度の募集は約62%まで下がります。

奈良市では、中学3年生の減少数は、103人にでしか無いところに、募集枠が410人もの削減が行われる予定となっております。

この過度な募集枠の削減で、受験生を持つ各家庭で困惑し、混乱が生じています。そして受験生を持たない家庭にも奈良県での子育ての不安が広がり他府県に転居された家庭も生まれています。

子育て世代にとって居住地を選ぶ際には、子どもの教育環境を重視し保育園、幼稚園のみならず高校進学まで視野に入れて考えます。

「少子化社会対策大綱」の基本的な考え方に「長期展望に立って、子供への資源配分を大胆に拡充し、継続的かつ総合的な対策を推進」と策定されています。

また、「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の基本理念にも、「子どもを生み育てやすく、子供が健やかに育つ奈良県へ」ともあります。

今回の定数削減は、大綱及び県のプランとは逆行します。

また他府県の私学に進学した場合には、卒業後も奈良県に戻ることが少ないのが現実です。

どうか安心して子育てが出来る奈良県にさせていただくためにも、地域ごとの生徒数に見合った県立高校の募集になるよう募集枠増員をお願いいたします。

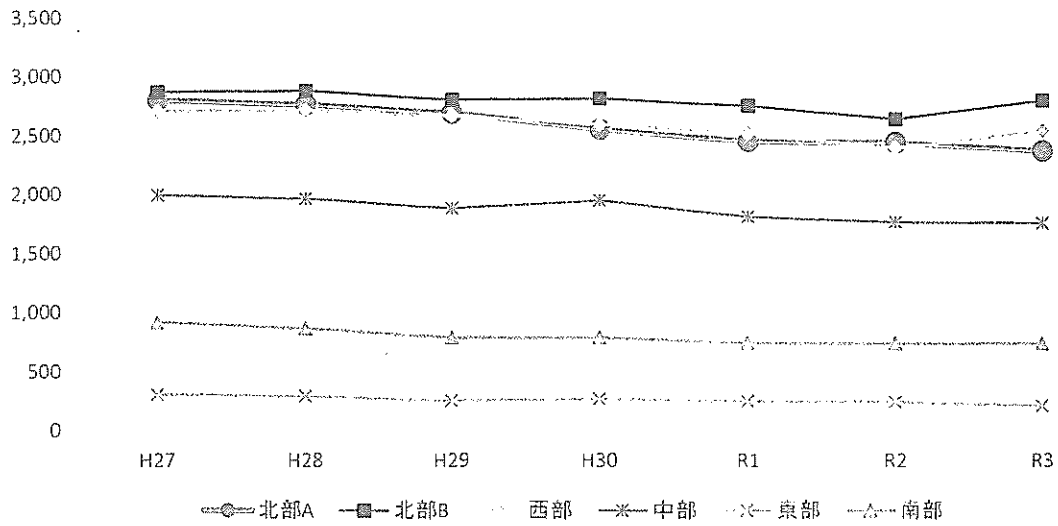
資料：奈良県県立高校募集人数比較資料 グラフ  
奈良県県立高校募集人数比較資料 表



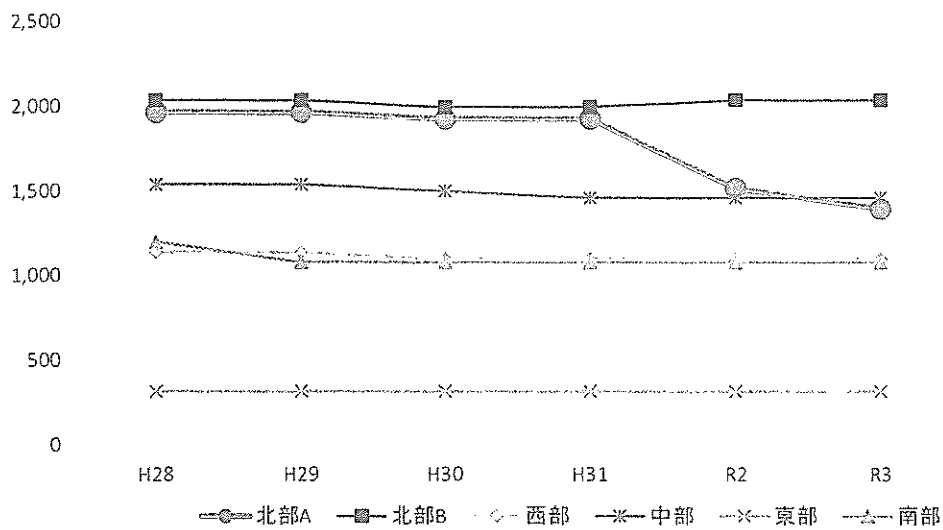
# 奈良県県立高校募集人数比較資料

R1.11.22

## 奈良県中学3年生人口推移(卒業年度別)



## 奈良県立高校募集数推移(入学年度別)



出典

奈良県HP 学校基本数一覧

<http://www.pref.nara.jp/20348.htm>

令和2年度奈良県立高等学校入学者募集人員

平成31年度奈良県立高等学校入学者募集人員

平成30年度奈良県立高等学校入学者募集人員

平成29年度奈良県立高等学校入学者募集人員

平成28年度奈良県立高等学校入学者募集人員

# 奈良県立高校募集人数比較資料

R1.11.22

奈良県内中学3生一学年当たりの人数推移(卒業年度別)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
北部A	2,807	2,772	2,699	2,561	2,458	2,449	2,378
北部B	2,876	2,888	2,811	2,819	2,757	2,647	2,804
中部	2,002	1,974	1,893	1,955	1,818	1,773	1,766
西部	2,712	2,720	2,675	2,604	2,528	2,400	2,547
東部	313	299	260	276	256	251	217
南部	925	872	798	795	748	745	747
合計	11,635	11,525	11,136	11,010	10,565	10,265	10,459
合計前年差分		-110	-389	-126	-445	-300	194

※R2は現中学2年生、R3は現中学1年生

各年度 県立高校全日制課程募集人数(入学年度別)

区分	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
北部A	1,970	1,970	1,930	1,930	1,520	1,400	
北部B	2,040	2,040	2,000	2,000	2,040	2,040	
中部	1,543	1,543	1,503	1,463	1,463	1,463	
西部	1,142	1,142	1,102	1,102	1,102	1,102	
東部	320	320	320	320	320	320	
南部	1,203	1,083	1,083	1,083	1,083	1,083	
合計	8,218	8,098	7,938	7,898	7,528	7,408	
前年差分		-120	-160	-40	-370	-120	

※R3は、西ノ京高校が閉校し、新設の県立大学付属として40名の5クラスとした場合

※R3は、その他は前年同数と仮定

同地区前年差分 中学生3年生一学年当たりの人数推移

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
北部A		-35	-73	-138	-103	-9	-71
北部B		12	-77	8	-62	-110	157
中部		-28	-81	62	-137	-45	-7
西部		8	-45	-71	-76	-128	147
東部		-14	-39	16	-20	-5	-34
南部		-53	-74	-3	-47	-3	2
合計		-110	-389	-126	-445	-300	194

※R2は現中学2年生、R3は現中学1年生

同地区前年差分 県立高校全日制課程募集人数

区分	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
北部A			-40		-410	-120	
北部B			-40		40		
中部			-40	-40			
西部			-40				
東部							
南部		-120					
合計		-120	-160	-40	-370	-120	

同地区 募集人数/中学3年生 割合

区分	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	実績平均
北部A	70.2%	71.1%	71.5%	75.4%	61.8%	57.2%		72.0%
北部B	70.9%	70.6%	71.1%	70.9%	74.0%	77.1%		70.9%
中部	77.1%	78.2%	79.4%	74.8%	80.5%	82.5%		77.4%
西部	42.1%	42.0%	41.2%	42.3%	43.6%	45.9%		41.9%
東部	102.2%	107.0%	123.1%	115.9%	125.0%	127.5%		112.1%
南部	130.1%	124.2%	135.7%	136.2%	144.8%	145.4%		131.5%
合計	70.6%	70.3%	71.3%	71.7%	71.3%	72.2%		71.0%

※全県区のため、同地区での簡易募集割合比較です。

※実績平均は、H28～H31の平均です。